

北九州空港について(旅客ターミナルビル改修)

○課題

北九州空港は、昨年秋から国際定期便（中国、韓国）が3路線就航し、平成28年度の空港利用者数は、開港以来最高の約140万人となった。

現在の旅客ターミナルビルは、150万人対応の施設となっており、将来の路線展開、誘致を進める上で、施設（主に国際線対応部分）の容量不足が見込まれる。

このため、施設の狭隘化の解消及び受入れ能力の拡大を図るため、旅客ターミナルビルの大規模改修を行うもの。

○目的

国際線について、同一時間帯に2便対応可能となるよう、旅客ターミナルビルを改修する。

○改修の概要

(1) 国際線施設

同一時間帯に2便対応可能な施設に改修。併せて、国際線のオープンスポットに新たな旅客通路を新設し、利便性向上を図る。

- ①国際線チェックインカウンター増設（現在：5台 → 改修後：8台）
- ②国際線保安検査場の増設（現在：1箇所 → 改修後：2箇所）
- ③国際線搭乗待合室の拡張（現在：約220人 → 改修後：約320人）
- ④国際線搭乗口の増設（現在：1箇所 → 改修後：2箇所）
- ⑤オープンスポット用旅客通路の新設
- ⑥航空機乗降用ステップ車の購入

(2) 国内線施設

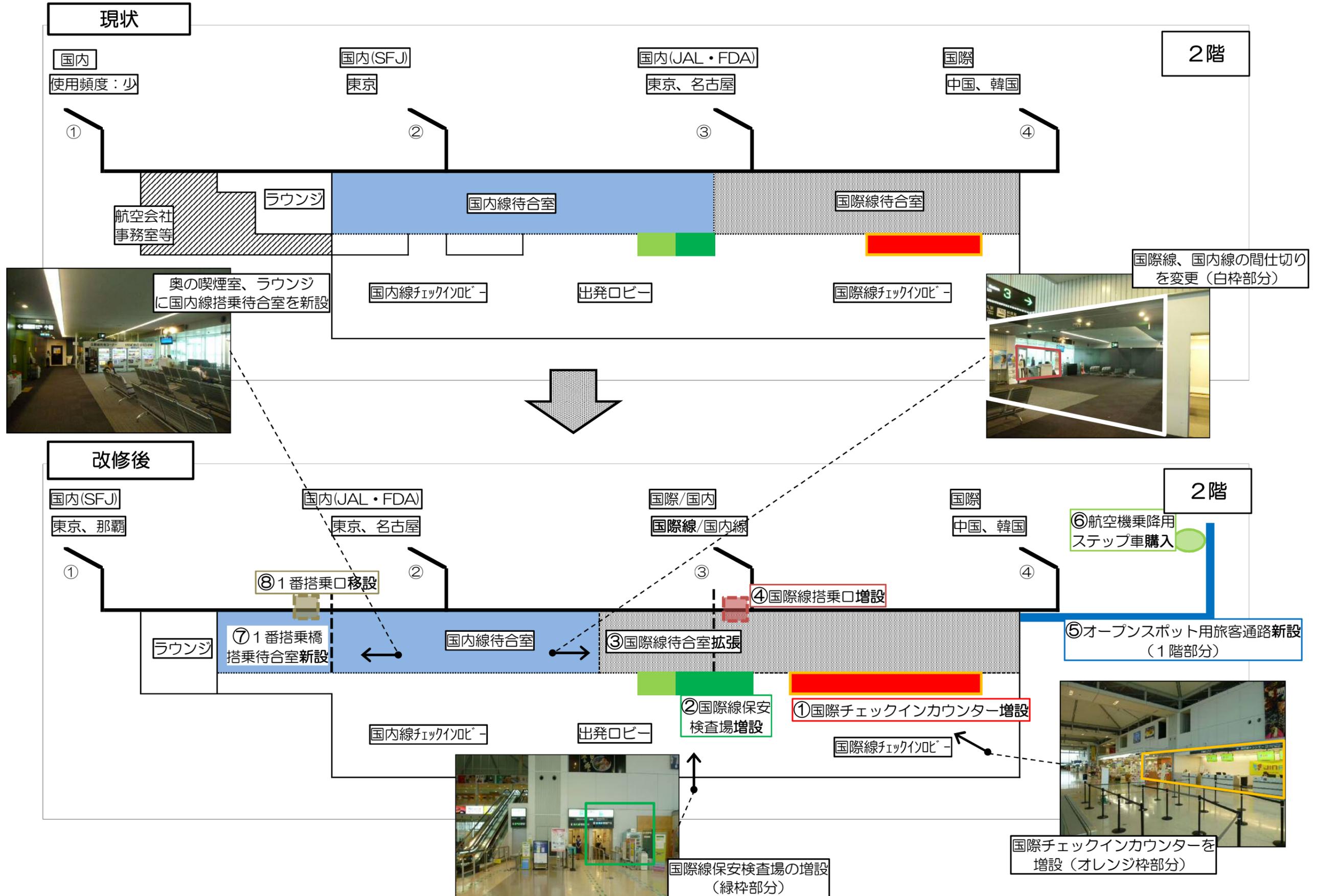
国際線施設の改修と併せて、1番搭乗橋の利便性を向上するための施設改修を行う。

- ⑦1番搭乗橋に対応する搭乗待合室の新設
（ラウンジやスターフライヤー事務室等の移設を伴う）
- ⑧1番搭乗口の移設

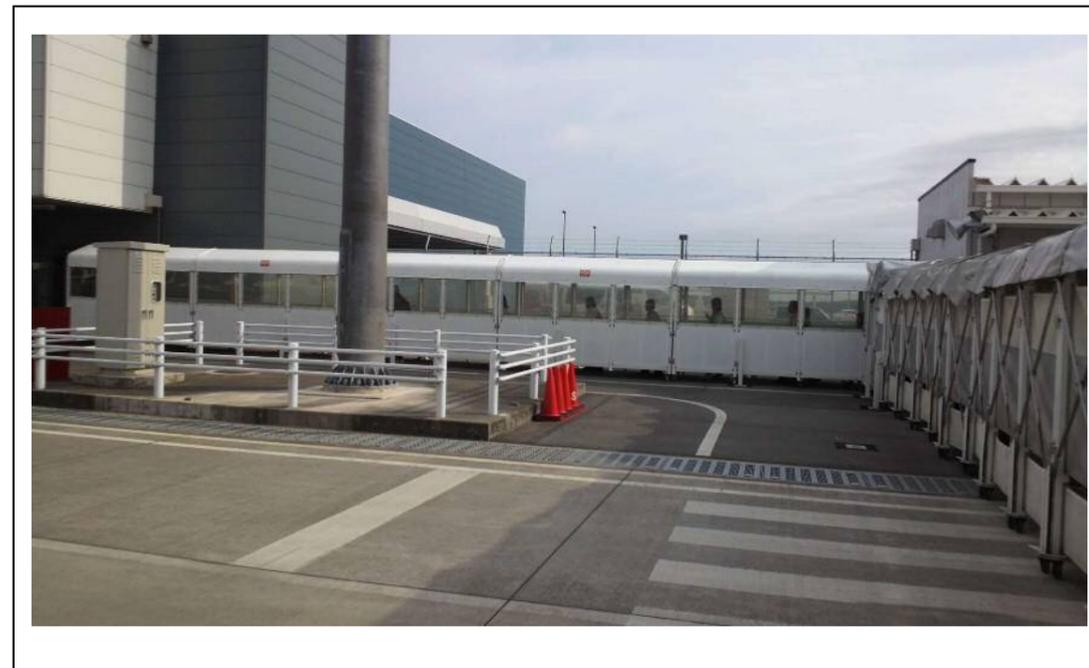
○改修工事について

- (1) スケジュール : 平成29年9月より設計に着手
- (2) 供用開始時期 : 平成30年10月末
- (3) 事業費 : 約6億円
※財源は、北九州エアターミナル(株)で調達

北九州空港旅客ターミナル改修(イメージ)について



(1) - ⑤ オープンスポット用旅客通路の新設



(1) - ⑥ 航空機乗降用ステップ車の購入

